

学校だより



読書の秋 ～読み聞かせのすすめ～

朝夕の冷え込みに、校庭や校舎の周りの木々も色づき始めました。「実りの秋」「食欲の秋」「スポーツの秋」等、秋を特徴づける言葉は沢山ありますが、活字離れが問題になっている今、僅かな時間でも「読書の秋」に浸ってみてはいかがでしょうか。

自分が興味のある本を読むことも素晴らしいことですが、お子様への絵本の「読み聞かせ」は、とても良いと言われています。それは、「読み聞かせ」が子どもの心を育て、創造力を豊かにするからです。自分のために本を読んでくれて、一緒に笑ったり感動したりしてくれることが、子どもにとっては一番うれしい贈り物なのです。

絵本を読んでもらっている間、子どもはお話を楽しんでいるだけでなく、親の愛情を確認しているのです。自分が親を独占していることがうれしいのです。ぜひ大好きだった絵本を読んであげてください。

読むのがうまくなくても、「読み聞かせ」をすることで、自然と子どもと心を通わせやすくなります。「読み聞かせ」の意味の大部分はここにあります。絵本は、子どもとのコミュニケーションの手助けにぴったりなのです。「読み聞かせ」をするのだと構えなくても、絵本を使って楽しいひとときを共有していただければと思います。

本校の課題である「読書量の不足」を、保護者の皆様と一緒に改善していきたいと思っております。お子様の発達段階やご家庭の状況に合わせた「読書の秋」の取組をぜひお願いします。



今月の生活の目標 「何事も最後までがんばる」

めあてをもって取り組んでいく中で、失敗することやくじけそうになることはつきものです。順風満帆で物事が進むことはほとんどありません。結果を求められることはもちろんありますが、大切なのは、そこに至るまでの取組の過程です。失敗してもくじけそうになっても、投げ出したり諦めたりせず、本校の校訓である『たゆまない努力』を重ね、めあてを達成するために取り組み続ける姿勢こそ、人を成長させる上で最も重要なことであると考えます。

11月16日(土)は、学芸会です。どの学年も劇の配役がほぼ決まり、これから本番に向けて練習を積み重ねていきます。学芸会という大きな行事に向けた各学年の取組の過程で、子どもたちの表現力や演技力を高める指導を行いながら、友達と協力し合い、励まし合い、認め合う心を育てていきたいと考えています。練習では、失敗を成功の基と捉えさせ、くじけそうな子がいたらクラス全体で支え、めあてに向かって全員が最後まで頑張り続けられるようにしたいと思います。ご家族の励ましやアドバイスも頑張り続ける大きな原動力になりますので、よろしくお願いします。



【 学校公開への多数のご参加ありがとうございました 】

11月1日の「おかやま教育の日」を前に、学校の教育活動を公開する「あさくち教育週間2019」に合わせ、本校では、10月26日(土)～11月1日(金)に学校公開を行いました。5日間で、延べ200人以上の保護者や地域の皆様方に来校していただき、子どもたちの活動や教員の指導の様子、掲示物や施設・設備などの教育環境を見ていただきました。心よりお礼を申し上げます。また、良い点や改善点を教えてくださった方もいて、大変ありがとうございました。

開かれた学校として、教育週間以外でも学校は公開していますので、お気軽にいつでも来校していただければと思います。お待ちしております。

